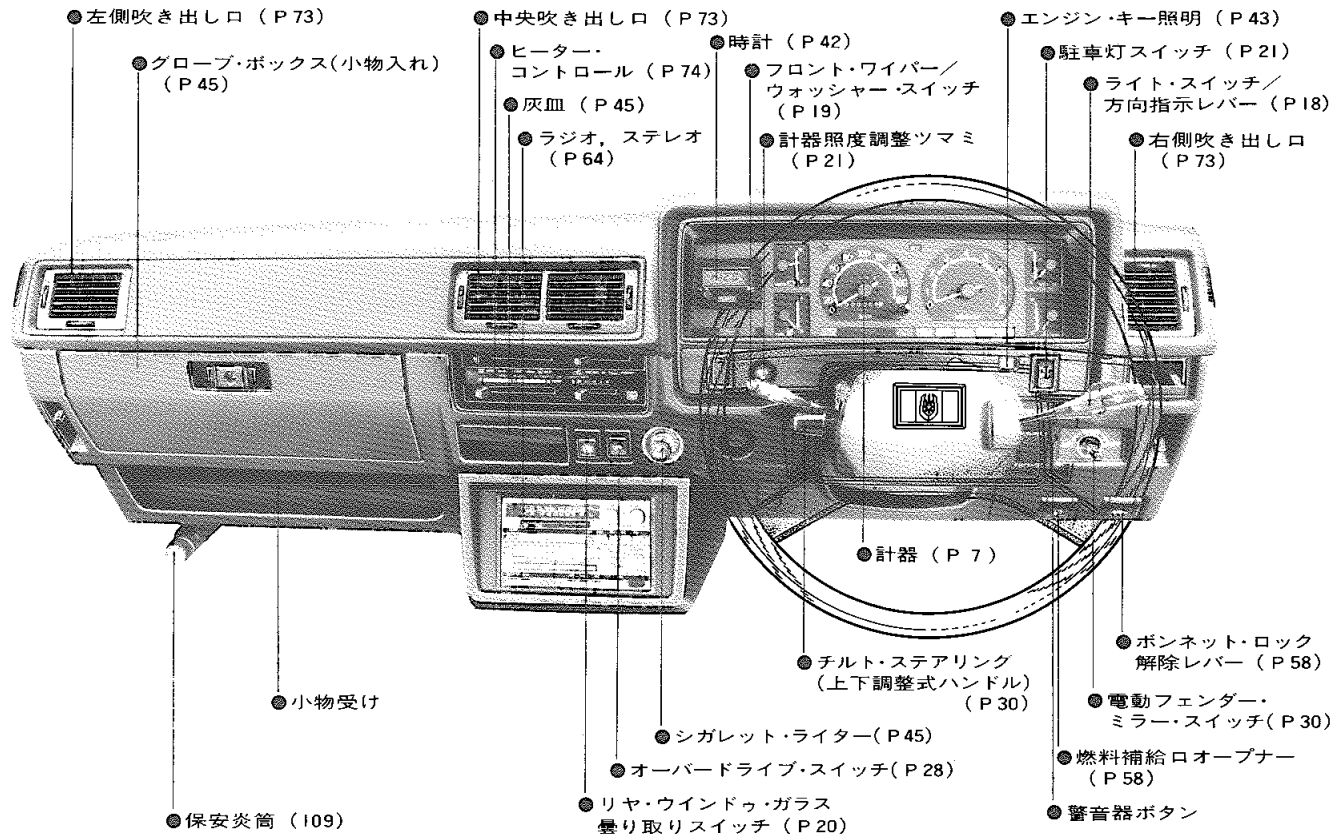




メーターの見方、使い方

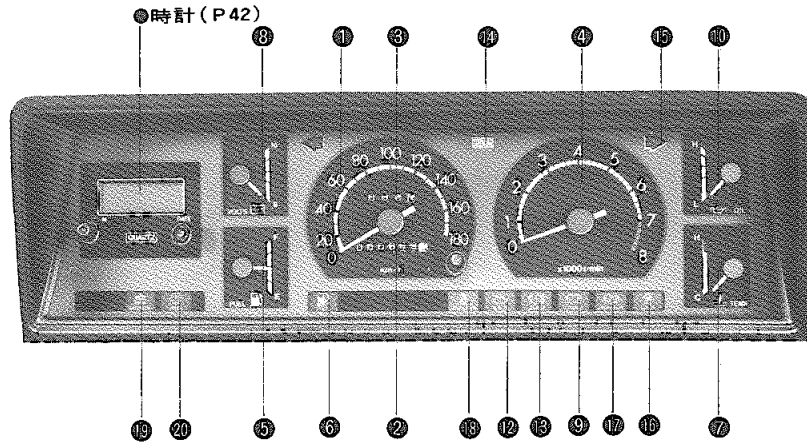
計器盤各部の名称	6
メーター、ランプの見方	7
①速度計	8
②積算距離計	8
③区間距離計	8
④エンジン回転計	8
⑤燃料計	9
⑥燃料残量警告灯	9
⑦水温計	10
⑧電圧計	10
⑨充電警告灯	11
⑩油圧計	11
⑪油圧警告灯	12
⑫排気温警告灯	12
⑬ブレーキ警告灯	13
⑭前照灯の上向き表示灯	13
⑮方向指示表示灯	13
⑯半ドア警告灯	13
⑰駐車ブレーキ警告灯	14
⑱断線警告灯	14
⑲冷却水量警告灯	14
⑳ウォッシャー液量警告灯	14
㉑予熱表示灯	15
㉒タイミング・ベルト交換警告灯	15
㉓燃料・水分離器水位警告灯	15
エレクトロニック・スピーク・モニター(音声警告装置)	16

計器盤各部の名称

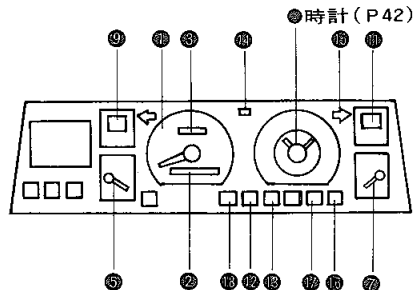


メーター、 ランプの 見方

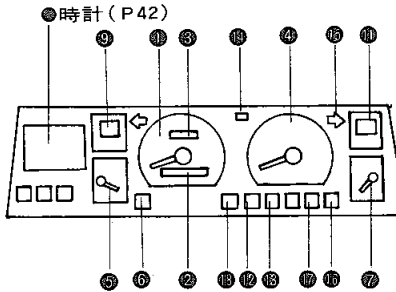
セダン車 GT, LG, LGツーリング, グランデ車



スタンダード, デラックス車
(時計はデラックス車のみ)

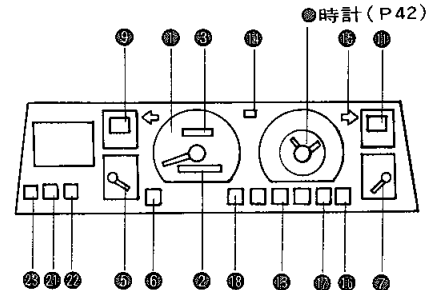


GL, GR, LE車



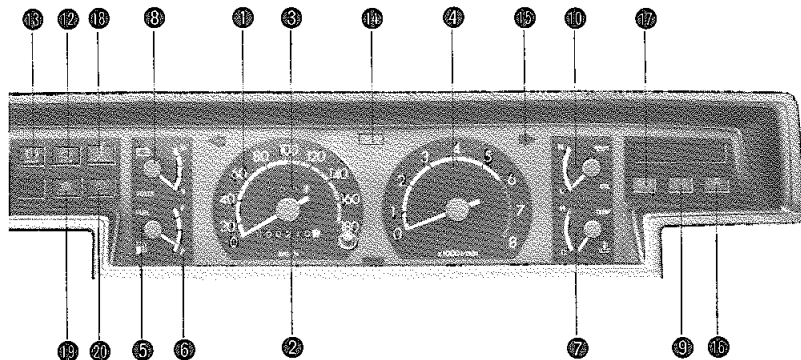
ディーゼル車

(燃料残量警告灯⑩はGL, GLエクスト
トラ車のみ)

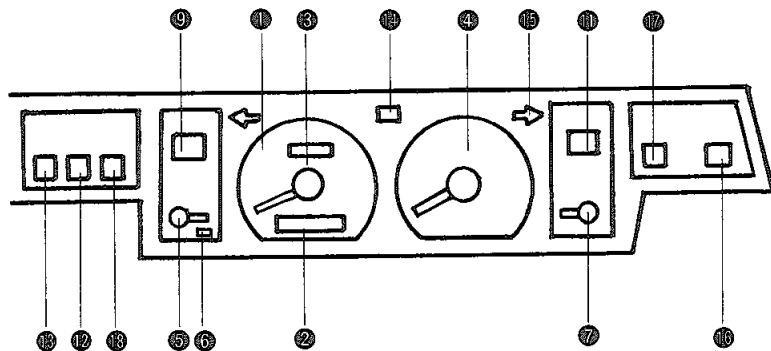


⑧=メーター、ランプの見方

ハードトップ車 GT, LG, LGツーリング, グランデ車



GL, GR, LE車



⑪ 速度計

約100km/h以上になるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針が振れることがありますが異常ではありません。

⑫ 積算距離計

走行した総距離をkmの単位で表わします。白地に黒文字は、100mの単位です。

⑬ 区間距離計

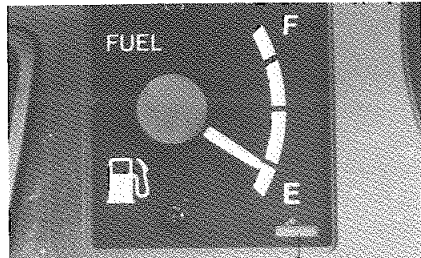
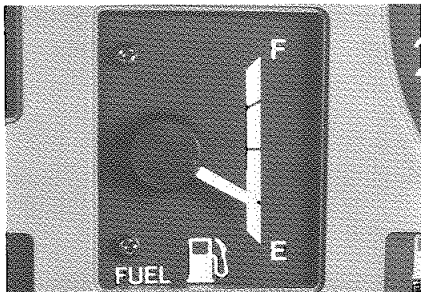
ツマミを押せば0にもどり、以後の走行距離を示します。

⑭ エンジン回転計

ディーゼル車およびスタンダード、デラックス車を除く

毎分のエンジン回転数を示します。指針が赤色表示部（エンジンの許容回転数を越えている）にはならないように運転してください。

⑨燃料計



燃料残量警告灯

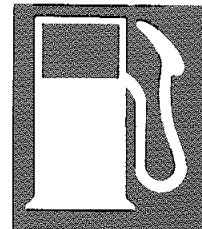
燃料タンク内の燃料残量を示します。置針式ですのでエンジン・スイッチに関係なく残量を示しますが、エンジン・スイッチ **OFF** で長時間放置しておきますと指示が若干変わる場合もあります。

車種	燃料タンク容量(ℓ)
セダン	65
ハードトップ	
ワゴン	
バン	61

- ☆Eに近づいたら早目に燃料を補給してください。
- ☆燃料補給後、エンジン・スイッチをONにしてから指示が安定するまで少し時間がかかりますが異常ではありません。
- ☆高速道路や自動車専用道路での燃料切れは違反になります。走行する前に必ず燃料が十分あることを確認してください。

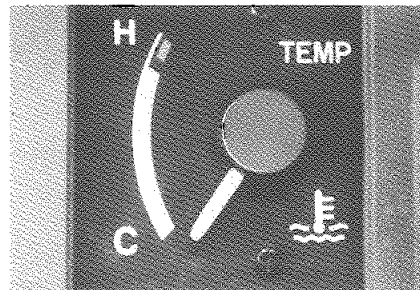
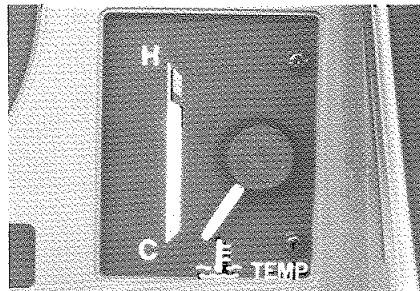
⑩燃料残量警告灯

スタンダード、デラックス車を除く



燃料の残量が約10ℓ以下になると、点灯して警告します。

⑦ 水温計



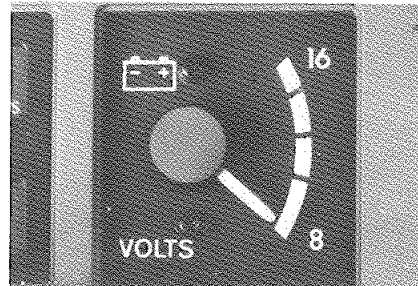
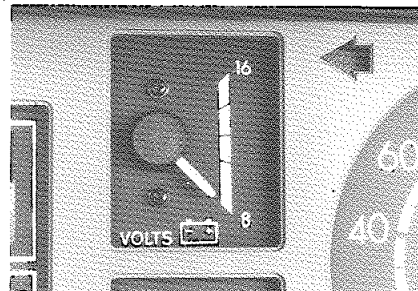
冷却水温を示します。

走行中の温度は目盛りHの赤色表示部より内側をさしているのが正常です。



指針が、Hの赤色表示部にはいったときは、オーバー・ヒートのおそれがありますので、ただちに車を安全な場所に止め、処置をしてください。
110ページの「オーバー・ヒートの処置」の項目を参照してください。

⑧ 電圧計 *

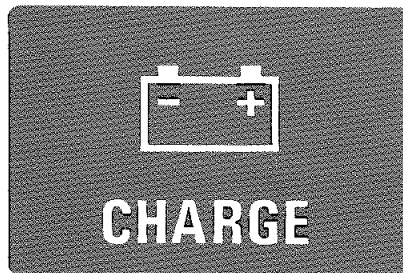


1. エンジン・スイッチをONにする
と作動します。
2. 通常は11～16Vを指示するのが
正常です。
3. 通常走行時16V以上または、11V
以下を指示するときは、バッテリ
ーや充電システムの異常が考えられま
す。点検を受けてください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

4. エンジン始動時は11V以下を指示することがありますが、異常ではありません。

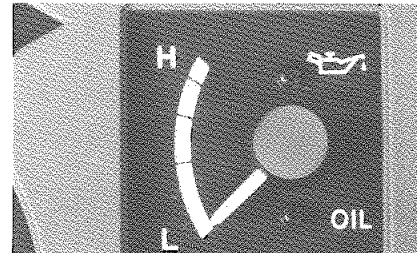
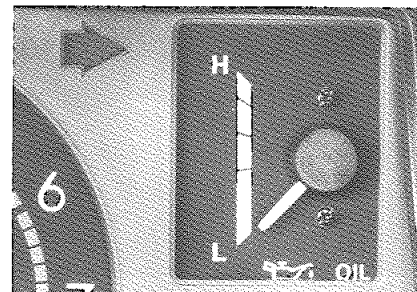
⑩充電警告灯



エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し警告します。

1. エンジン停止中に、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2. 充電警告灯が点灯するときは「排気温警告灯」も同時に点灯します。

⑪油圧計 *



エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

1. エンジン回転を上げても指針が動かない場合は、潤滑系統に異常があります。エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常がありますので点検を受けてください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

⑫ 油圧警告灯 *

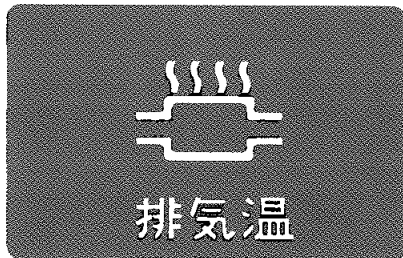


エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

1. エンジン回転中に点灯したままのときは、エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常があります。
点灯したまま走行するとエンジンの焼き付きを起こすおそれがありますので点検を受けてください。

⑬ 排気温警告灯

ディーゼル車を除く



触媒装置の温度が高くなりすぎると、点灯して警告します。

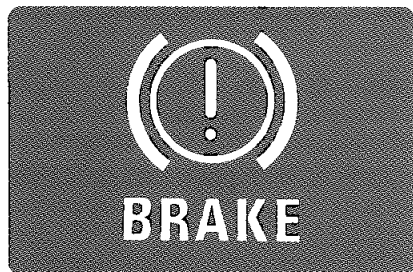
1. エンジン・スイッチをONにすると「排気温」のランプが点灯し始動すると消灯するのが正常です。
2. ONにしても点灯しない場合は点検を受けてください。
3. 充電警告灯が点灯すると、同時に「排気温警告灯」も点灯します。この場合、触媒の温度上昇を知らせているではありません。



「排気温警告灯」が点灯した場合、必ず次の処置をしてください。

1. 走行中の場合
 - ◎ 警告灯が点灯したときの、半分程度に速度を落としてください。普通は数分内に消灯します。
 - ◎ 速度を落としても消灯しない場合は枯れ草などの燃えやすいものがない場所に停車してください。それでも消灯しない場合はエンジンを止めて冷却してください。冷却したあとで再びエンジンを始動して消灯していることを確認してください。
 2. 停車中の場合
 - ◎ エンジンを止めて冷却するまで放置してください。冷却した後は再びエンジンを始動し消灯していることを確認してください。
- 消灯しない場合または再び点灯する場合は、そのまま使用せず点検を受けてください。

13 ブレーキ警告灯

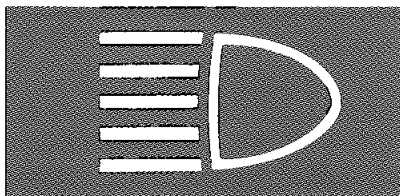


エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

エンジン回転中に点灯したままのときは、以下の不具合が考えられます。

1. ブレーキ液の漏れ、不足
2. ESC (電子制御式横すべり防止装置) の故障 (ESC 付き車)
3. ブレーキ倍力装置負圧の異常 (ディーゼル車)

14 前照灯の上向き表示灯



前照灯が上向きするとき点灯します。

15 方向指示表示灯

方向指示レバーの操作により点滅して右折、左折を示します。

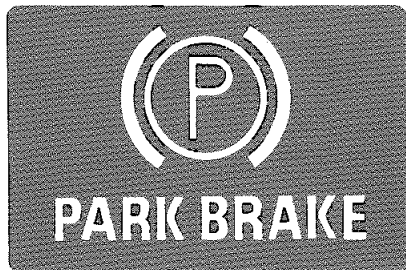
点滅が異常に早くなるときは、電球切れが考えられます。

16 半ドア警告灯



ドアが完全にしめられていないとき点灯します。

17 駐車ブレーキ警告灯



エンジン・スイッチがONのとき、駐車ブレーキ・レバーを引くと点灯し、もどすと消えます。



走行前に、消灯していることを確認してください。

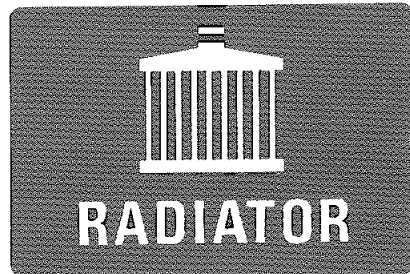
18 断線警告灯



エンジン回転中尾灯、番号灯および制動灯を点灯したとき、各ランプの電球切れまたは、配線の不具合があると点灯し警告します。

1. エンジン・スイッチをONにすると警告灯が点灯し、始動すると消灯するのが正常です。
2. エンジン・スイッチをONにしても点灯しない場合、またはエンジンを始動しても消灯しない場合は、警告灯の電球切れ、断線警告装置の不具合が考えられます。

19 冷却水量警告灯 *



ラジエーター補助タンクの液量が規定量以下になったことを知らせます。

20 ウォッシャー液警告灯 *

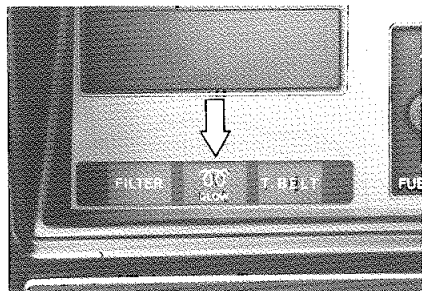


ウォッシャー液が規定量以下になったことを知らせます。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

④ 予熱表示灯

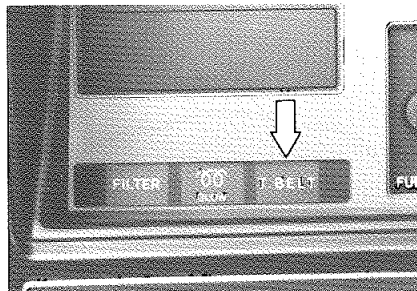
ディーゼル車



エンジン・スイッチをONにしたとき点灯し、予熱プラグの予熱状態を表示します。予熱が完了すると消灯します。23ページの「エンジン始動」の項目を参照してください。

⑤ タイミング・ベルト交換警告灯

ディーゼル車

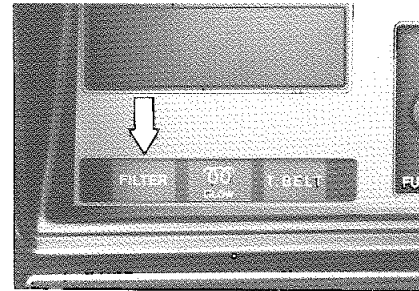


1. エンジン・スイッチがONのとき点灯し、始動すると消灯します。点灯しないときは、電球切れなどが考えられます。
2. 10万km走行後点灯します。

点灯したまま走行すると、タイミング・ベルトが切れてエンジンが損傷するおそれがありますので、トヨタ・サービス工場にて交換してください。

⑥ 燃料・水分離器水位警告灯

ディーゼル車



1. エンジン・スイッチがONのとき点灯し、始動すると消灯します。点灯しないときは、電球切れなどが考えられます。
2. 燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。このとき同時にブザーが鳴ります。

点灯したまま走行を続けると噴射ポンプが焼き付きエンジンが損傷するおそれがあります。警告灯が点灯したらただちに排水してください。

123ページの「燃料・水分離器の排水方法」の項目を参照してください。

■エレクトロニック・スピーク・モニター(音声警告装置)*

次のような場合、運転席側スピーカーより、チャイムが鳴ったあと音声で次のように警告します。

1. エンジンを始動したとき、シートベルトの着用を奨励します。

ベルトを
お確かめください。

2. キーが差し込まれたまま運転席側ドアをひらいたとき、キーの抜き忘れを警告します。

キーをお確かめ
ください。
(2回)

3. ライトをつけたままエンジンを切ったとき、およびライトをつけたままキーを抜いたときライトの消し忘れを警告します。

ライトをお確かめ
ください。
(2回)

4. ガソリンの残量が10ℓ以下になったとき警告します。

ガソリンを
入れてください。
(2回)

5. 走行中、4つのドアのいずれかが完全にしめられていないとき警告します。

ドアをお確かめ
ください。
(2回)

6. 駐車ブレーキ・レバーを引いたまま走行しはじめたとき、駐車ブレーキ・レバーのもどし忘れを警告します。

パーキング・ブレーキを
お確かめください。
(2回)

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。